

世界を笑顔に

栄和産業（綾瀬市吉岡東、☎0467・77・0878）は、新プロジェクト「世界を笑顔にする栄和産業」を始めた。みんなの笑顔が生まれるような取り組みをしていき、製造業の“堅いイメージ”を変えていこうとする試みだ。若い人材の確保にもつなげ



とし、同プロジェクトを企画した。

ウェルダーマングッズは、針金を曲げて手作りした

栄和産業

る。第一弾として、同社の溶接職人をイメージしたオリジナルキャラクター「ウェルダーマン」を制作。手作りグッズを学校などに配布する。また、各社員を動物に例えキャラクター化、それを名刺に記載する「ぶつぶつプロジェクト」もスタートさせた。

東京工芸大学芸術学部・笠尾敦司教授らとの産学連携プロジェクト。

同社は自動車部品のプレス加工などを手掛ける企業で「若者応援企業」として毎年10人以上の新卒を採用している。

溶接職人キャラ「ウェルダーマン」制作



伊藤正貴社長は「製造業にはお堅いイメージがあります。溶接の分野はなおさらです。そのイメージを柔らかくしていきたいです」

製造業のイメージを変えたい

もので、面と溶接機を持っているのが特徴だ。同社が4月に採用した新卒は13人。うち9人がウェルダーマンの影響で、溶接職人を志望しているという。

将来的には、障がい者や高齢者が在宅ワークでウェルダーマングッズを制作し、販売して収益を出せるようにしていく。

■1人の魅力が会社の魅力に

これに対し、「ぶつぶつプロジェクト」では、自分を動物に例えてもらい、そこから似顔絵「動物マイキャラ」を描き名刺に載せる。

「名刺交換をした人に興味を持ってもらえれば、そこから話が広がります。それに、社員一人一人が自分の魅力を出すことが、会社の魅力にもつながります」と伊藤社長。この「動物マイキャラ」を全社員に展開していく考えだ。